

J-NETWORK
MAKING THE ROAD

2.26★北沢タウンホール

勝った井上はここまで素敵な笑顔で喜ぶ。学歴に勝ち、対抗戦でも勝っていい仕事をしたぞ、消防士!

この抜群の笑顔!



撮影◎吉澤晃

無敗の東大大学院生チャンプを倒した

34歳の鉄火魂!!

井上のコメント



「(団体対抗戦だったので)自分だけの問題じゃないので勝って良かったです。(相手は)1Rから強いと思いました。インターバルの時に考えてたのはどうやってヒジを入れるか。ヒジ一本に絞ってました。練習も半分ぐらいヒジでしたし。自分は偏った選手なんです(笑)」

西山のコメント



「作戦ではヒジの距離を避けるつもりだったんですけど、結果がこれですからカッコ悪いですね。敗因は相手の意地ですかね、向こうが狙ってたとおりの技でやられて。このままじゃ終われないですよ。負けて得られるものがあると思いますんで」



▶西山の右ストレートはよく当たっていたが、狙いすぎました。ヒジで顔をバッククリ割られて敗北



◀結局、傷が深くドクターストップ。井上の予告どおりの技で負けたのは悔しいところ

	井上哲	西山誠人
モチベーション(闘志・気迫)	10	5
技術・戦略	5	5
KOスピリット	5	5
勝ちっぷり負けっぷり	5	5
全体的な印象・インパクト	5	10
合計	30	30



▲現役東大大学院生でJ-NETライト級王者の西山の戦績はそれまで7戦全勝。試合前も「なぜ僕が負けないのか、その答えをお見せしましょう」と豪語するほどの完璧さであった

★第6試合/メインイベント(3分5R)
○井上哲(2R1分28秒、TKO勝ち) 西山誠人 ●
(MAキック/山本ジム) (J-NET/ノーチャラダジム)
※ドクターストップ。右ヒジ打ちで西山が出血したため

しかし、凄いなキック界は！ エスパー伊東こと梅下、アカアシクワガタ、湧暉がいるかと思えば、今度は現役東大大学院生チャンプの西山誠人が出てきて、あらビックリ！ しかも、西山の卒論のテーマはオカダンゴムシだから、どいつもこいつもムシばかり。どうなってるんだ、キック界！ もお、スゴ過ぎ！

で、この日本が誇るクレバーなキック王者は言うこともいまいち素晴らしい。この日まで7戦全勝の彼。試合前には「なぜ僕が負けないのか、その答えをお見せしましょう」と全てのキック選手を見下すのごとく豪語！

「負けた時にカッコ悪いんでデカイことはいけません」とか又ルイことを言い出す選手が多い昨今の格闘技界にあって、このセリフはシビれるばかり！ データに裏打ちされた緻密な自信が男らしいやら、憎たらしい！

一方、対する井上は東京消防庁勤務の消防士さん。西山と違って年齢34歳のコクのあるベテランだ。そんな二人が団体同士の威信をかけて激突したのがこの日の試合。そしてテーマはズバリ言ってヒジだ。試合前からヒジで決めると言っていた井上は2ラウンド初っぱなに見事に西山の額をカッター。これでドクターストップになって意地を貫き切ったわけである。

試合後、無邪気に大喜びする井上に対して、怒りを内に抑えて、傷口の写真も撮らせない西山。この喜怒哀楽の深さの差こそが男の勝負の非情な結果であり、見る者の楽しみとなる。闘う両者の背中に人生が見える闘いに乾杯だ！ (フチ)